

あいいくだより 4月

赤ちゃんの事故★

生まれてから1歳になるまでに、赤ちゃんは大きく成長します。その成長の先回りをして環境を整え、対策をとることで、赤ちゃんを事故の危険から守ることができます。

抱いているときも注意が必要



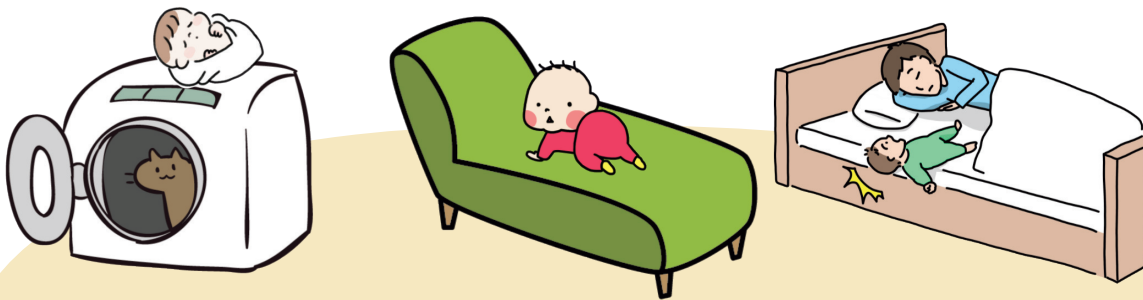
赤ちゃんを抱っこして移動するときは、つまずきに気をつけて。体勢を立て直せず、親子ともにケガをする危険が大きくなります。また、赤ちゃんを激しく揺ると脳にダメージを与えてしまうこともあるのでやめてください。

眠っているときも気をつけて！



赤ちゃんの顔が沈み込むようなやわらかい布団は、顔が埋もれて窒息する危険があります。タオルケットが顔を覆って呼吸ができなくなることもあるので厚みや重さのあるものは避けましょう。赤ちゃんを寝かせるときは、SIDS（乳幼児突然死症候群）の予防の観点でも仰向けにしましょう。また、寝ている布団には、おもちゃやぬいぐるみなどは置かないようにしてください。

「寝ているから」「ちょっとだけ」が転落事故の原因に



ベッドやソファなどでは、赤ちゃんが手足をジタバタさせたり、寝返りをうったりして落ちてしまう事故が起きるので必ず対策を。また、ゆるやかな傾斜でもモゾモゾ動くとき転落してしまいます。危険な場所に寝かせたり、置いたりしないようにしましょう。

5月のわくわくサークルのお知らせ

日時

R8.5.27(水)
10:00~11:30

ゲーム



持ち物

お子さん用の
お茶

場所

西庄公民館
1階和室

愛育会のInstagram



坂出市愛育会